

日本学術会議・史学委員会・「博物館・美術館等の組織運営に関する分科会」議事要旨
(第24期・第1回)

日時 2017年12月2日(土) 14:00~16:20

場所 東京大学赤門総合研究棟742演習室(本郷キャンパス)

出席委員: 秋山聰、井手誠之輔、稲村哲也、井上洋一、小佐野重利、小津稚加子、木俣元一、小池寿子、佐藤宏之、芳賀満

欠席委員: 泉武夫、松田陽、真鍋真、三浦篤

議事概要

1. 本分科会・日本博物館協会共催の合同公開シンポジウム「博物館法をはじめとする関連法等の改正に向けて」(2018年1月20日(土)開催予定)について(第23期分科会からの申し送り企画)

小佐野前委員長から資料に基づいて説明があり、開催が承認された。あわせて、「博物館登録制度の在り方に関する調査研究」報告書(公益財団法人日本博物館協会)の内容についての説明がなされ、シンポジウムの方向性が示された。

2. 分科会の今期執行部の選出、および特任連携会員推薦について

委員長には引き続き小佐野重利前委員長、また副委員長に芳賀満委員が選出された。幹事は木俣元一委員と秋山聰委員が担当することとなった。また特任連携会員として中瀬勲前期委員を推薦することが承認された。

3. 今期分科会の検討課題と目標、および委員会開催スケジュールについて

3/4月、8月上旬、12月の予定で開催を検討することとなった。

今期の検討課題については、財務諸表の分析を継続すること、博物館・美術館学芸員による科研費取得の実績調査を行うことなどが提案され、議論された。今期の目標として、今期末に何らかの提言の発出を目指すことが了承された。

4. その他

4. 1. CIHA(国際美術史学会)コロキウム東京について

「Towards the Future: Museums and Art History in East Asia」というタイトルで開催される予定のCIHA(国際美術史学会)コロキウム東京(2019年3月10、11日)を日本学術会議の後援名義使用のために幹事会に提案することが承認された。同年9月ICOM(国際博物館会議)大会と連携する上でも、学術会議から発

表者を出す必要がある旨、説明された。

4. 2. 新たな委員について

新たに菊地芳朗氏（福島大学行政政策学類教授、日本考古学・古墳時代）から本分科会への参加希望があり、事務局に届け出中であり、12 月末の幹事会で追加承認後、1 月 20 日共催の合同シンポジウムから参加することが確認された。

配布資料

1. 議題 1 に関連する幹事会への共催提案書
2. 「博物館登録制度の在り方に関する調査研究」報告書（公益財団法人日本博物館協会）
3. その他